



こどもまんなか

みんなで作ろう！こども・子育てに優しい信州

しあわせ信州

長野県(農政部)プレスリリース 令和6年(2024年)7月3日

## 〔2023 研究成果トピックス〕

# 農業関係試験場が開発した新品種・新技術を紹介

令和5年度に長野県内の農業・畜産関係の5試験場が開発した新品種・新技術等の中から、以下の4つの主な成果を「2023 研究成果トピックス」として紹介します。これらの新たな品種や技術は、今後県内の農業者に活用されていきます。

### 【新品種】サニーレタス「長・野60号」



レタス根腐病に強く、温暖化にも適応した新品種を開発しました。

- 3つの根腐病レース※<sup>1</sup>に抵抗性があり、病気に強い
- 高温条件でもとう立ち※<sup>2</sup>しにくく、チップバーン※<sup>3</sup>が少ない



- ※1 レース 病原菌の種類
- ※2 とう立ち 花をつける茎が伸びる現象
- ※3 チップバーン 葉の縁が枯れる生理障害

### 【新技術】「長交鶏3号」のアニマルウェルフェア飼育技術の開発

県オリジナル地鶏「長交鶏3号」の飼育は、低密度(2.5羽/m<sup>2</sup>)で胸部水疱が少なく、良好でした。



低密度(2.5羽/m<sup>2</sup>)の平飼い飼育の様子

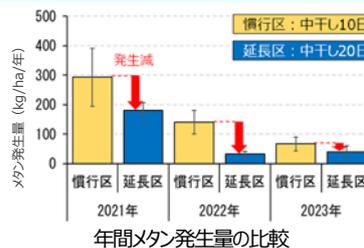


低減

胸部水疱：胸部に大きな水ぶくれができる障害

脚が弱く、座る時間が長くなると発生が助長される

### 【新技術】水田から発生する温室効果ガス(メタン)の削減技術



中干し(栽培途中の落水)の期間を長くすると、水田からのメタンの発生量を抑制できます。

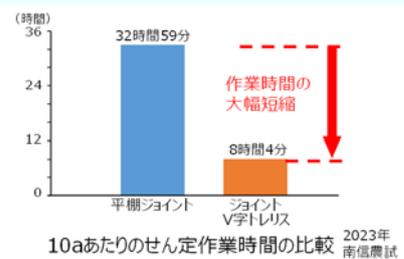
- 通常10日間の中干し期間を20日間に延長すると、メタンの発生が約30%減少
- 水稻の生育や収量、品質に影響はみられない



中干し期間中の水田

### 【新技術】「南水」のジョイントV字トリス樹形栽培での作業性

なしにおける「ジョイントV字トリス樹形栽培」は、身体への負担が少なく、作業性が向上します。



作業姿勢の比較

- 上：平棚ジョイント仕立て
- 下：ジョイントV字トリス樹形

農業関係試験場ホームページの研究成果トピックス「農業技術リーダー」で、各研究成果に関する詳細情報もご覧いただけます。(右の二次元バーコードからもアクセスできます)

<https://www.agries-nagano.jp/research>



確かな暮らしを守り、  
信州からゆたかな社会を創る

しあわせ信州創造プラン3.0

～大変革への挑戦「ゆたかな社会」を実現するために～

[長野県総合5か年計画推進中]

(問合せ先)  
担当 長野県農業試験場  
企画経営部  
小船井、諸  
TEL: 026-246-2412(直通)  
FAX: 026-251-2357  
E-mail  
nogyoshiken@pref.nagano.lg.jp

(問合せ先)  
担当 長野県農政部  
農業技術課研究普及係  
百瀬、細井  
TEL: 026-235-7220(直通)  
FAX: 026-235-8392  
E-mail  
nogi@pref.nagano.lg.jp